



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング
 コード番号 6638 URL <https://ir.mimaki.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三宅 洋

TEL 0268-80-0058

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	39,905	4.4	2,072	19.4	1,728	11.6	987	23.1
2018年3月期第3四半期	38,231	8.8	1,736	8.8	1,549	12.1	1,284	61.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 509百万円 (71.5%) 2018年3月期第3四半期 1,787百万円 (80.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	32.62	
2018年3月期第3四半期	42.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	57,897	18,481	31.6
2018年3月期	53,994	17,778	32.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 18,297百万円 2018年3月期 17,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		5.00		7.50	12.50
2019年3月期		7.50			
2019年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,600	6.0	2,750	0.7	2,400	1.7	1,850	0.9	61.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	32,040,000 株	2018年3月期	32,040,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,225,767 株	2018年3月期	1,999,790 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	30,264,280 株	2018年3月期3Q	30,040,210 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(偶発債務)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、第2四半期まで概ね堅調に推移しましたが、第3四半期以降では米国の政策運営や金融政策をめぐる不透明感、中国の景気減速など様々なマイナス要因が顕在化し、不安定な状況が続いております。また、国内経済につきましても、深刻化する人手不足に加え、消費税引き上げを控える政治面や円高懸念を抱える市場面において不安材料が内在し、世界経済と同様に楽観できない状況にあります。

このような状況においても、当社グループは着実に事業を拡大しております。

市場別売上高では、2017年11月に発売開始したUCJVシリーズが牽引し、SG(サイングラフィックス)市場向けが大幅に拡大しております。UCJVは、環境にやさしいUVインクを搭載しプリントとカットを1台で行うことのできる革新的な製品で、今後もSG市場向けの主力機種として長期にわたって定着すると想定しております。

エリア別売上高では、販売チャネル改革に取り組んできた北・中南米で増加基調が続いております。従前の北・中南米向けの販売シェアは、ほかのエリアに比べて見劣りしておりましたが、中期的に取り組んできた販売代理店網と販売手法の再構築の効果が表れつつあると認識しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は399億5百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は20億72百万円(同19.4%増)、経常利益は17億28百万円(同11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億87百万円(同23.1%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が減益となったのは、前年同期に税効果会計の見直しを行った結果、一過的に法人税等負担率が大きく低下したためであります。

なお、当第3四半期連結累計期間における主要な為替レート(2018年4月～2018年12月の平均レート)は、1米ドル=111.15円(前年同期111.71円)、1ユーロ=129.49円(前年同期128.53円)とほぼ前年並みで推移しましたが、新興国通貨(トルコリラやブラジルレアル等)の下落は経営成績を押し下げる要因となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントの利益につきましては、セグメント間取引消去の影響により四半期連結損益計算書の営業利益から乖離してしまうため、記載を省略しております。

(日本・アジア・オセアニア)

日本・アジア・オセアニアにおける売上高は169億45百万円(前年同期比5.1%増)であります。中国の売上高が前年同期を下回りましたが、その他エリアでカバーし、全体では前年同期を上回る売上高を確保しております。

(北・中南米)

北・中南米における売上高は92億92百万円(同5.8%増)であります。販売チャネル改革が進み、為替の影響を除いた現地通貨(ドル等)ベースでも順調に拡大しています。

(欧州・中東・アフリカ)

欧州・中東・アフリカにおける売上高は136億67百万円(同2.5%増)であります。現地通貨(ユーロ)ベースの売上高でも堅調に増加しております。

当第3四半期連結累計期間における市場別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
SG市場向け	17,664,350	44.3	9.2
IP市場向け	12,897,289	32.3	1.7
TA市場向け	4,152,883	10.4	△5.9
その他	5,190,758	13.0	4.7
合計	39,905,282	100.0	4.4

また、当第3四半期連結累計期間における品目別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
製品本体	18,532,427	46.4	3.2
インク	13,976,333	35.0	5.5
その他	7,396,522	18.6	5.3
合計	39,905,282	100.0	4.4

(SG市場向け)

SG市場向け製品における売上高は176億64百万円(前年同期比9.2%増)であります。「UCJVシリーズ」が好調に推移していることに加え、インクやメディア等の消耗品関連も前年同期を上回る売上高を確保しております。

(IP市場向け)

IP市場向け製品における売上高は128億97百万円(同1.7%増)であります。製品本体、インクとも、ほぼ前年同期と同水準の売上高を確保しております。

(TA市場向け)

TA市場向け製品における売上高は41億52百万円(同5.9%減)であります。製品本体の売上高は前年同期から減少したものの、インクやメディア等の消耗品関連では前年同期を上回る売上高を確保しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間中に簡易株式交換により取得したアルファードデザイン株式会社とその子会社3社、及び株式会社楽日の合計5社の貸借対照表を連結対象としたため、当第3四半期連結会計期間末における財政状態の状況は、前連結会計年度末に比べて資産・負債とも増加しております。

資産の合計は、前連結会計年度末に比べ39億3百万円増加し578億97百万円となりました。その内訳は、流動資産の増加27億71百万円、固定資産の増加11億32百万円であります。これは主に、たな卸資産と有形固定資産の増加等によるものであります。

負債の合計は、32億円増加し394億16百万円となりました。その内訳は、流動負債の増加12億88百万円、固定負債の増加19億11百万円であります。これは主に、買掛債務と長期短期借入金の増加等によるものであります。

純資産の合計は、7億3百万円増加し184億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,529,969	11,738,205
受取手形及び売掛金	9,232,964	8,124,176
商品及び製品	11,466,055	12,460,434
仕掛品	769,911	1,924,418
原材料及び貯蔵品	4,101,582	4,911,310
その他	2,248,935	2,798,955
貸倒引当金	△187,833	△24,394
流動資産合計	39,161,586	41,933,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,943,663	4,262,285
土地	2,799,435	3,262,745
その他(純額)	2,505,652	2,983,462
有形固定資産合計	9,248,751	10,508,492
無形固定資産		
のれん	1,445,817	1,518,880
その他	908,607	998,359
無形固定資産合計	2,354,424	2,517,240
投資その他の資産		
投資有価証券	117,566	66,654
繰延税金資産	1,658,723	1,429,155
その他	1,698,684	1,902,979
貸倒引当金	△245,573	△459,792
投資その他の資産合計	3,229,400	2,938,996
固定資産合計	14,832,576	15,964,729
資産合計	53,994,162	57,897,836
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,122,297	4,121,742
電子記録債務	4,552,318	5,638,222
短期借入金	7,344,770	8,925,013
1年内返済予定の長期借入金	4,138,854	3,638,357
リース債務	74,670	90,819
未払金	1,336,978	1,171,678
未払法人税等	819,209	159,089
賞与引当金	766,213	428,670
役員賞与引当金	38,406	31,128
製品保証引当金	879,007	1,085,087
その他	3,216,690	3,288,091
流動負債合計	27,289,415	28,577,900
固定負債		
長期借入金	8,237,263	10,048,645
リース債務	85,083	104,333
繰延税金負債	14,061	83,322
退職給付に係る負債	457,295	470,219
資産除去債務	46,610	46,686
その他	86,343	85,094
固定負債合計	8,926,658	10,838,300
負債合計	36,216,074	39,416,201

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,269,686	4,617,040
利益剰余金	10,280,353	10,816,994
自己株式	△804,308	△517,343
株主資本合計	18,103,187	19,274,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,403	△1,382
為替換算調整勘定	△574,895	△1,001,370
退職給付に係る調整累計額	33,843	26,308
その他の包括利益累計額合計	△536,647	△976,445
新株予約権	1,725	8,944
非支配株主持分	209,822	174,987
純資産合計	17,778,087	18,481,635
負債純資産合計	53,994,162	57,897,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	38,231,340	39,905,282
売上原価	20,013,789	20,764,863
売上総利益	18,217,550	19,140,419
販売費及び一般管理費	16,481,106	17,067,789
営業利益	1,736,444	2,072,629
営業外収益		
受取利息	34,470	24,686
受取配当金	700	650
仕入割引	4,358	38,713
その他	59,824	55,893
営業外収益合計	99,353	119,943
営業外費用		
支払利息	130,781	116,477
売上割引	68,486	71,591
為替差損	54,576	221,495
持分法による投資損失	12,435	35,988
その他	20,160	18,027
営業外費用合計	286,439	463,580
経常利益	1,549,358	1,728,993
特別利益		
固定資産売却益	24,422	15,463
特別利益合計	24,422	15,463
特別損失		
固定資産売却損	765	1,668
段階取得に係る差損	-	4,706
特別損失合計	765	6,374
税金等調整前四半期純利益	1,573,015	1,738,081
法人税、住民税及び事業税	765,015	521,506
法人税等調整額	△463,451	258,735
法人税等合計	301,564	780,241
四半期純利益	1,271,450	957,840
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,155	△29,404
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284,606	987,244

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,271,450	957,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,466	△8,788
為替換算調整勘定	525,422	△460,254
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,267	28,349
退職給付に係る調整額	△9,304	△7,535
その他の包括利益合計	516,316	△448,229
四半期包括利益	1,787,767	509,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,788,798	544,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,031	△34,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年10月22日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、アルファードesign株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を、2018年11月26日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、株式会社楽日を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。また、2018年12月13日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が286,964千円減少し、当第3四半期連結会計期間期末において自己株式が517,343千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間において、アルファードesign株式会社、株式会社アルファースステムズ、株式会社アルファータック、株式会社砺波製作所及び株式会社楽日を株式交換により子会社化し、貸借対照表のみを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(偶発債務)

当社の連結子会社であるMIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA(以下、ミマキブラジル社)は、当社インクジェットプリンタの輸入に関して、ブラジル国の税務当局から調査を受け、2件合計84,920千ブラジルレアルの追徴課税通知を受け取りました。ミマキブラジル社は当局からの指摘内容を不服とし、2018年9月に追徴課税通知を受けた44,494千ブラジルレアルに関しては税務訴訟の準備を進めており、2018年11月に追徴課税通知を受領した40,425千ブラジルレアルに関しては同年12月に不服申し立てを行っております。

ミマキブラジル社は、本追徴課税は根拠がないものとする考え方にに基づき、適切に対処してまいります。従って、現時点で当社グループの業績への影響額を見積もることは困難であります。